

日本文学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに、最新の研究動向を学術情報発信の場から学ぶため、学外学会や研究会への参加を奨励している。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	研究計画書作成指導	・指導教員の決定 ・指導教員と相談しながら研究テーマ・研究計画概要を決定する。
5月下旬～	随時、指導教員に研究指導の進捗状況を報告し、研究指導を受ける。	・前期課程2年次の修士論文中間発表会・後期課程学生の成果報告会に参加し、研究や論文作成方法を修得する ・学外学会や研究会への参加を奨励
11月下旬	国語国文学会秋季大会での研究発表	・全員が現在の研究テーマについて発表し、問題点等に関して質問を受ける。
<b>2年次</b>		
4月	学位論文執筆ガイダンスへの参加 「特別研究」において、指導教員に研究の進捗状況を報告し、指導を受ける。	・修士論文執筆ガイダンスの実施 ・修士論文執筆指導及び研究指導
10月	修士論文中間発表会での中間報告 中間発表会で受けた指摘等を踏まえ、研究を深化させる。	・中間発表会で問題点等を指摘し、適切な指導を行う。
1月下旬～2月	修士論文の提出、口述試験 (博士課程後期入学試験)	・修士論文審査、口述試験の実施 ・修士論文合否の決定 (博士課程後期入学者の決定)
3月	研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与	

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、博士論文提出にあたって学会誌などに掲載された学術論文を3編以上有すること、うち1編は査読誌に掲載されたものであることが基礎資格として課されている。博士課程前期と同様、指導教員による個別指導が行われる。最新の研究動向を学術情報発信の場から学び、研究者としての経験を積むため、学外学会や研究会への参加は前期に引き続き奨励される。

なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。指導教員による博士論文作成に関する指導は随時行われ、予備審査会における研究計画の承認や博士論文成果報告会も学生ごとに行われる。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	学位論文執筆ガイダンス 研究指導体制・指導計画の確定	・学位論文執筆ガイダンスの実施 ・指導教員の決定 ・指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導
	指導教員に対して研究の進捗状況等を随時報告し、指導を受ける	・研究の進捗状況等の報告を随時受け、研究指導を行う。
10月	論文執筆計画の確認	・論文執筆指導計画の見直し
11月下旬	博士論文成果報告会への参加 国語国文学会秋季大会での研究発表	・全員が現在の研究テーマについて発表し、問題点等に関して質問を受ける。
<b>2年次～</b>		
4月～2月	研究テーマ・内容の確認と決定	・学位論文執筆の進捗状況を随時確認し、研究指導を行う。
10月	博士論文成果報告会への参加	・学位論文の構想や個々の事柄について問題点を指摘し、指導する。
11月下旬	国語国文学会秋季大会での研究発表	・全員が現在の研究テーマについて発表し、問題点等に関して質問を受ける。
<b>最終年次</b>		
4月～7月	専攻内博士論文執筆資格審査	・審査委員会の設置及び資格審査
1月	学位申請論文及び概要等の提出 研究科委員会での学位申請論文受理	・研究科委員会へ博士論文提出 ・審査委員会の設置(主査1名・副査4名)
2月	審査委員会による公開審査(公開口頭試験)	・博士論文の審査 ・口述試験の実施
2月～3月	研究科委員会における審査結果報告、 学位授与審議 学位(博士)授与	・学位(博士)授与の決定

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

英文学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに、学術情報発信の実際を経験するため、学会への参加が奨励される。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	ガイダンスへの参加 毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究指導の進捗状況を報告し、研究指導を受ける	・学位(修士・博士)論文執筆についての指導を含むガイダンスの実施 ・アドバイザーの決定 ・4月以降アドバイザーによる修士論文執筆に向けての研究
6月～	研究テーマ・内容の確認と決定	・2年生が行う修士論文中間発表会(9月末～10月初旬)に参加させ、研究や論文作成方法を指導する ・学会への参加を奨励
<b>2年次</b>		
4月	ガイダンスへの参加	・学位(修士・博士)論文執筆についての指導を含むガイダンスの実施 ・論文指導教員の決定 ・論文指導教員による論文執筆および論文提出についての指導を行う
9月末～10月初旬	修士論文中間発表会で報告	・中間発表会で博士課程前期・後期の大学院生全員の前で発表し、英文学専攻教員全員からの指導を受ける
10月～12月	中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて、研究を深化させる	・中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導
12月末	修士論文審査委員会の設置	・主査1名、副査2名の決定
1月～2月	修士論文の最終提出、口頭試問(博士課程後期入学試験)	・修士論文審査の実施 ・最終試験(口述試験)の実施(博士課程後期入学者、進学者の決定) ・修士論文可否の決定
3月	論文返却会の実施 研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与	・論文返却会にて提出論文に関する反省会の実施

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、博士課程前期と同様、博士論文完成に向けて指導教員による指導がなされる。研究情報発信の経験と知識を積むために学会への参加は、前期に引き続き奨励される。

なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。後期課程の3年次に総括としての後期課程論文を提出するため、指導教員による論文作成に関する指導が行われる。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	ガイダンスへの参加 研究指導体制・指導計画の確定	・学位(修士・博士)、後期課程論文執筆についての指導を含むガイダンスの実施 ・指導教員の決定 ・4月以降指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導 ・履修(博士論文執筆)指導計画の策定
9月末～10月初旬	指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し指導を受ける 中間発表会参加	・研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う ・中間発表会で問題点等を指摘する
<b>2年次</b>		
4月	ガイダンスへの参加	・学位(修士・博士)、後期課程論文執筆についての指導を含むガイダンスの実施
4月～2月	研究テーマ・内容の確認と決定	・引き続き指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導を行う
9月末～10月初旬	中間発表会参加	・中間発表会で問題点等を指摘する。
<b>3年次</b>		
4月	ガイダンスへの参加 指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し指導を受ける	・学位(修士・博士)、後期課程論文執筆についての指導を含むガイダンスの実施 ・研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う
9月末～10月初旬	中間発表会参加	・中間発表会で問題点等を指摘する
12月末	後期課程論文審査委員会の設置	・主査1名、副査2名の決定
2月	後期課程論文の最終提出、口頭試問	・後期課程論文審査の実施 ・最終試験(口述試験)の実施 ・後期課程論文可否の決定
3月	論文返却会の実施	・論文返却会にて提出論文に関する反省会の実施 ・指導教員より今後の研究方針の指導を行う

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

## 史学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

### 【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報の発信の実際を経験するために、学会・研究会等への積極的な参加が推奨される。また、その実践として、専攻内各発表会での報告を義務づける。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	学位論文執筆ガイダンスへの参加。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位(修士・博士)論文執筆ガイダンスの実施。</li> <li>・指導教員1名, 副指導教員2名の決定。</li> <li>・4月以降指導教員, 副指導教員による修士論文執筆指導および研究指導。</li> </ul>
6月	毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究の進捗状況を報告し、指導を受ける。 研究テーマ・内容の確認と決定。	
<b>2年次</b>		
6月	修士論文発表会に向け、発表内容、発表方法等について指導を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文中間発表会で問題点等を指摘し、指導する。</li> <li>・修士論文中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導を行う。</li> <li>・修士論文審査委員会の設置。</li> <li>・修士論文審査の実施。</li> <li>・最終試験(口述試験)の実施(博士後期課程入学者・進学者の決定)。</li> <li>・修士論文の可否の判定。</li> </ul>
9月～10月	修士論文中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて研究を深化・発展させる。	
2月	修士論文の最終提出、口頭試問。	

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

### 【博士課程後期】

博士論文の提出にあたっては、学会誌または大学院紀要などに掲載された論文を3編以上有すること、また学会誌掲載論文のうち1編は審査を経て認められた査読論文であることが基本的資格として課せられるため、研究情報発信の経験と知識を積むために学会・研究会等の機会への積極的な参加は、博士課程前期に引き続き奨励される。博士課程前期と同様、指導教員を含む複数の指導教員による指導がなされる。なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。指導教員による博士論文作成に関する指導、予備審査会における研究計画の承認や、博士論文中間発表会が毎年2回ずつ学生ごとに行われる。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	博士学位論文執筆ガイダンス。 研究指導体制・研究計画の確認。	<ul style="list-style-type: none"> <li>博士論文執筆ガイダンスの実施。</li> <li>・指導教員1名, 副指導教員2名の決定。</li> <li>・4月以降指導教員, 副指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導を行う。</li> <li>・履修(博士論文執筆)指導計画の策定。</li> <li>・研究の進捗状況等の報告を随時受け、研究指導を行う。</li> </ul>
10月	指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し、研究指導を受ける。	
3月	履修(博士論文執筆)指導計画の確認。 博士論文中間発表会参加。	・履修(博士論文)指導計画書の見直し。
<b>2年次</b>		
4月～2月	研究テーマ・内容の確認と決定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士論文執筆の進捗状況を確認し研究指導を行う。</li> <li>・博士論文中間発表会で問題点等を指摘及び指導する。</li> </ul>
3月	博士論文中間発表会参加。	
<b>3年次</b>		
4月～7月	博士論文専攻内予備審査。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備審査会の設置。</li> <li>・博士論文の予備審査。</li> <li>・口述試験の実施。</li> <li>・研究科委員会への博士論文提出。</li> <li>・学位審査委員会の設置(主査1名, 副査2名以上の承認)。</li> <li>・博士論文の審査。</li> <li>・最終口述試験の実施。</li> <li>・博士学位授与の決定。</li> </ul>
11月	博士学位申請論文及び概要等の最終提出。	
1月～	研究科委員会博士学位論文受理。 審査委員会における公開審査(公開口頭試問, 最終試験の実施)。	
2月	研究科委員会における審査結果報告、学位授与審議。	
3月	学位(博士)授与。	

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。